

氏名	福川 京子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	看護学
学位授与番号	博甲第5633号
学位授与の日付	平成29年 9月29日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文の題目	保健師による「活動の対象とめざす成果」の記述の実態
論文審査委員	西田眞壽美 教授、兵藤好美 教授、芳我ちより 准教授

### 学位論文内容の要旨

自治体保健師を対象に、構文完成型設問による「活動の対象とめざす成果」の記述を求め、活動計画等の説明に必要な構文の要素（活動の対象、成果の内容、時間、程度）の有無とその内容を検討した。調査期間は平成22年11～12月、配布数1,615、回収数1,088(67.4%)、有効回答数961(59.5%)。活動の対象の「記述あり」は81.0%、成果の内容58.8%、時間3.4%、程度18.5%、その主な内容は、活動の対象では特定の属性や範囲、成果の内容は具体的な健康課題等、時間は期限等、程度は全・無および特定の率・割合等であった。4つの要素が揃う要素数4の記述は2.4%、要素数3が15.6%、要素数2が33.8%、要素数1が37.7%、要素数0が10.5%であり、要素数が減少するにつれ時間、程度、成果の内容、活動の対象の順に欠落する傾向がみられた。要素数4の保健師は経験年数が長く都道府県での割合が高かったが、要素数群との相関比等は0.1未満であった。保健師には、対象の健康課題等の成果と、とりわけその達成時期や程度を記述することに課題がある可能性が示唆された。

### 論文審査結果の要旨

本論文は、全国自治体の保健師1,615名を対象として、その活動の対象とめざす成果の記述を求め、活動計画等の説明に必要な構文の要素（活動の対象、成果の内容、時間、程度）の有無とその内容の実態について、郵送による質問紙調査法を用いて検討したものである。有効回答数961における分析の結果、81%に要素の記述があり、特定範囲の対象について健康指標や行動変容等に関する具体的な健康課題等が記述されていた。しかし、時間および程度の要素の記述が少なく、目標達成時期や数量的な程度を記述することに課題がある可能性が示唆された。

本研究では自記式質問紙に記述された文章を定性的・定量的に分析した結果が提示されている。設問には中長期に亘る組織目標や個人目標まで幅広い内容が混在し、具体的な記述が困難であった可能性があり、調査法の限界と課題が残された。総合的な評価として、研究方法に再考の余地を残し限定的ではあるが、今後の保健師活動の目標設定と記述に関する研修プログラム開発の可能性が示唆された。

以上により、本研究は学位論文として基礎的な成果を含む研究と評価し、博士（看護学）として学力および知識を有するものと認め、最終試験を合格と判定した。